

AMS山梨青年部の活動について

甲府西支部・甲府西支部青年部合同 水素ガスカーボンクリーニング研修会が開催されました

本研修会は、水素ガスを利用することでエンジンの燃焼室内のカーボン除去を行なう、水素ガスカーボンクリーニングについて学ぶために開催されました。当日は、多くの支部青年部員や支部員が参加し、積極的な研修会となりました。

また、今後も整備事業に関わる各種研修会を開催して参ります。

- ◇日 時 6月22日(土) 14:30～
- ◇場 所 (一社)山梨県自動車整備振興会 駐車場
- ◇講 師 水素ガスカーボンクリーニング 代表 石井 啓己 氏
- ◇研修内容
- ・水素ガスカーボンクリーニングとは、効果について
 - ・クリーニング後の数値変化、数値低減効果について
 - ・クリーニング施工事例について
 - ・クリーニング後の燃焼室内について
 - ・燃費改善事例紹介、燃費改善コスト試算について
 - ・適応車種、作業手順、施行料金について
 - ・実演



= お知らせ =

令和6年度「夏の交通事故防止県民運動」の実施について

7月21日(日)～8月20日(火)までの31日間、「夏の交通事故防止県民運動」が実施されます。つきましては、各事業場におかれましても交通事故防止の徹底が図られますよう、ご協力をお願いします。

◇期間

7月21日(日)～8月20日(火)までの31日間

◇交通事故防止県民運動の目的・重点目標

1. 運動の目的

この運動は、児童、生徒等の夏休みと夏の行楽シーズンが重なり交通事故が発生しやすくなる夏季において、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を促し、交通事故の防止を図ることを目的とする。

2. 運動の重点目標

- (1) 飲酒運転の根絶
- (2) 高齢者と子供の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- (3) 二輪車の交通事故防止
- (4) 自転車等の安全適正利用の推進

◇交通安全スローガン

メインスローガン

「守るのは マナーと家族と 君の明日」

記録簿等の価格改定について

指定整備記録簿・持込用点検記録簿について、仕入先より原材料価格の高騰に加え、運送費用等の上昇や副資材の調達コスト上昇も続いていることから、記録簿類の価格改定の連絡がありました。

当会においても、自助努力だけではコスト増を吸収できない状況となるため、やむを得ず下記のとおり頒布価格の改定を行うこととします。

何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

- ・ 価格改定実施日 令和6年8月1日（木）から
- ・
- ・ 改定価格一覧

持込記録簿 (軽・乗用・貨物・事業用・二輪・被牽引)	車検割会費	予約協力費	用紙代		合計
			現 用紙代	新 用紙代	
1冊 新販売価格	1,800	786	414	514	3,100
バラ 新販売価格	180	80	90	120	380

商品名	旧販売価格	新販売価格
指定記録簿 事業用	¥950	¥1,100
指定記録簿 貨物	¥950	¥1,100
指定記録簿 乗用	¥950	¥1,100
指定記録簿 二輪	¥800	¥950
指定記録簿 被牽引	¥800	¥950
臨時整備記録簿	¥550	¥650

整備作業中の事故発生について

自動車整備事業場にて、下記のとおり整備作業中の事故が発生しました。
会員事業場においても、引き続きご注意くださいようお願いいたします。

【事故概要】 中部管内 《令和6年5月13日（重症）》

大型3軸トラックの3ヶ月点検で、リアエアサスを上限まで上げて、4名で作業を行っていた際、側方灯不灯修理等のためキーON状態での作業中に、被災者がリア左の車高センサーのボールジョイント固着修理のため、タイヤの上に覆い被さる形で作業を行っていたが、車高センサー側ボールジョイントのナットを外したと同時に車体が降下したため、タイヤとフェンダーの間に頭部・胸部を挟まれ重傷を負った。

未認証行為防止啓発について

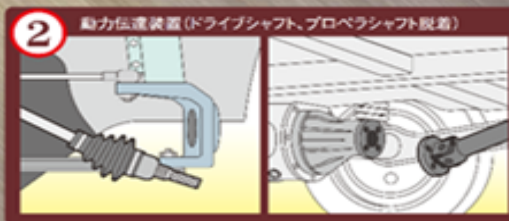
国土交通省では、未認証事業者の排除に向けた取り組みの一環として、情報収集・調査等の一層の強化を図るため、毎年7月を強化月間として、未認証防止対策を推進しています。

未認証に関する情報がありましたら、本誌次ページの情報提供用紙により、各支部長経由にて振興会にご連絡下さいますようお願いいたします。

特定整備を行う場合は、認証を取得しましょう。

未認証行為は、 法律違反です!!

特定整備となる主な作業例



※電子制御装置整備の対象車両については国土交通省HPよりご確認ください。

！ 未認証行為は、道路運送車両法違反となります。

未認証行為とは、国土交通省地方運輸局長（沖縄は総合事務局長）の道路運送車両法第七十八条の規定に基づく認証を受けずに、業として自動車の特定整備を行う行為です。違反すると罰金が科せられる場合があります。

●道路運送車両法

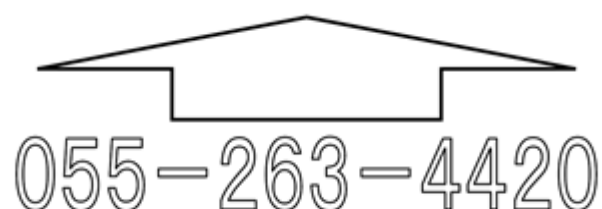
第七十八条（罰則）

自動車特定整備事業を営もうとする者は、自動車特定整備事業の種類及び特定整備を行う事業場ごとに、地方運輸局長の認証を受けなければならない。

第四十九条（罰則）

次の各号のいずれかに該当する者は、五十万円以下の罰金に処する。（十一）第七十八条第一項の規定による認証を受けずに自動車特定整備事業を営んだ者

国土交通省／（一社）日本自動車整備振興会連合会



未認証行為(ユーザー代行等)に関する情報提供用紙

(わかる範囲で記入して下さい)

報 告 者	報告日		TEL	
	支部名		FAX	
	工場名			

氏名及び名称		TEL			
住 所					
作業実施者名		実施日			
作 業・場 所		時間	午前・午後	時	分
車 両 番 号		車名		色	
分解整備作業 箇所に○印を 入れて下さい	<ul style="list-style-type: none"> (1) 原動機 (2) クラッチ、トランスミッション、プロペラ・シャフト デファレンシャル (3) フロント・アクスル、前輪独立懸架装置 リア・アクスルシャフト (4) かじ取り装置のギヤ・ボックス、リンク装置の連結部 かじ取りホーク (5) マスター・シリンダー、バルブ類、ホース、パイプ 倍力装置、ブレーキ・チャンバー、ブレーキ・ドラム ディスクブレーキのキャリパー (6) 緩衝装置のシャシばね (7) 連結装置 				
作業内容を具 体的に記入し て下さい					

令和6年度 CO・HC測定器定期校正の実施計画について

認証工場を対象とする標記定期校正を、通達に基づき下記により実施します。
また、該当支部の事業場(認証工場)には追ってご案内しますが、あらかじめご承知置き下さい。

令和6年度 CO・HC定期校正計画表

支 部	実 施 日	実 施 場 所	時 間
菰 崎	7月17日(水)	協 同 組 合 ア ム ス 菰 崎	9:30~16:00
塩 山	8月21日(水)	塩 山 車 検 セ ン タ ー 協 同 組 合	9:30~16:00
南アルプス南	9月11日(水)	常 盤 自 動 車 整 備 工 場	9:30~16:00
南アルプス北	10月2日(水)	(有) 堀 田 自 動 車 工 場	9:30~16:00
甲 府 北	令和7年2月18日(火)	振 興 会 実 習 場	9:00~16:00
甲 府 南	3月11日(火)	振 興 会 実 習 場	9:00~16:00
日 下 部	3月13日(木)	振 興 会 実 習 場	9:00~16:00
市 川	3月18日(火)	振 興 会 実 習 場	9:00~16:00

OBD検査システムの整備事業者向け説明会のご案内について

10月からのOBD検査本格運用に向けて、4月21日からOBD検査システムが稼働し、並行して整備事業者様からの利用者登録に係る申請受付が開始されました。

また、OBD検査システムの稼働に合わせ、(一社)山梨県自動車整備振興会が主催するOBD検査の概要・関係通達、利用者管理システム・特定DTC照会アプリ操作方法、OBD検査プレ(検査用スキャンツール使用方法)などに関する説明会を、下記により開催します。

10月から開始される本格運用に向けて、より実務的な内容の説明会となりますので、適切な準備を進めていただくために、ぜひ、ご参加のほどよろしくお願い致します。

説明会対象者は、

各事業場の工場長又は店長等 1名 が対象

◇ 内 容

【OBD検査に関する説明会】 **【講義形式+実演形式】**

- ・OBD検査の概要と関係通達内容
- ・利用者管理システム操作方法
- ・特定DTC照会アプリ操作方法
- ・OBD検査結果参照システム操作方法
- ・OBD検査プレ(検査用スキャンツール使用方法)

- ◇ 時間割【午前の部】受付 9:00～9:30 研修 9:30～12:30
 【午後の部】受付 13:00～13:30 研修 13:30～16:30
- ◇ 講師 関東運輸局 自動車技術安全部 担当専門官
 独立行政法人自動車技術総合機構 関東検査部検査課
 OBD検査業務専門官
- ◇ 研修会場
 ・(一社)山梨県自動車整備振興会 新館2階 大講堂 ・ 新館1階 実習場
- ◇ 研修費用
 ・無料
 説明資料につきましては、当日受付にてお渡しします。
 なお、受付にて研修受講票をご記入してご提出下さい。

OBD検査システムの整備事業者向け説明会 日程表

月 日	受付・研修期間	該当事業場認証番号
7月19日(金)	午前の部	(第8-2号～第8-248号)
	午後の部	(第8-249号～第8-497号)
8月9日(金)	午前の部	(第8-498号～第8-746号)
	午後の部	(第8-747号～第8-995号)
9月13日(金)	午前の部	(第8-996号～第8-1244号)
	午後の部	(第8-1245号～第8-1490号)

* 新型コロナウイルス感染拡大防止対策の観点から受講人数を制限しておりますのでご協力をお願いします。

OBD検査システムの「事業場ID申請」を受付けております

10月より、検査用スキャンツールを用いたOBD検査の本格運用が開始されます。この本格運用に向けたプレ運用（習熟期間）が昨年10月から開始されました。

認証及び指定工場においてOBD検査及びプレ運用を行うには、事前にOBD検査システムに「事業場ID申請」が必要となり、4月より「OBD検査ポータルサイト」において受付が開始されております。OBD検査システム及び登録に必要な情報は、下記のOBD検査ポータルサイトからご確認願います。

（各種マニュアル類も下記のOBD検査ポータルサイトから入手できます。）

<https://www.obd.naltec.go.jp/>

～【OBD検査について】～ ！！注意！！

- 指定工場は、対象車の完成検査時に「OBD検査」が必要になります。
（検査用スキャンツールを使用します。）

指定工場（対象自動車が大型特殊自動車、小型二輪自動車のみの事業場は除く）の利用登録は必須です。まだ、事業場ID申請がお済みでない指定工場は、お早めに申請して下さい。

指定工場でのプレ運用は、国土交通省通達のとおり「OBD検査モード」だけでは適否の判定まで進めないため、『初回アプリ使用済』にはなりません。『OBD確認モード』で「実行」を行うと『初回アプリ使用済』となります。さらに、OBD検査システムID申請済みの指定工場の皆さまは、処理状況が『初回アプリ使用済』となるように準備して頂きますよう、よろしくお願いします。


- 認証工場についても、自工場で検査用スキャンツールを使用して「OBD検査と同等の確認（OBD確認）」を実施した場合、原則として車検場においてOBD検査が省略されます。
- OBD検査（確認）及びプレ運用を行うには、事前にOBD検査システムへの利用申請が必要になります。なお、自工場でOBD検査（確認）を実施せずに対象車を車検場に持ち込む場合には、OBD検査を車検場で実施するため利用申請は不要となります。
- OBD検査/確認における注意点等のお知らせについて
【VCIコネクタ接続不良によるDTC検出関係】

OBD検査プレ運用期間中に一部の車両において、VCIコネクタの接続不良により、DTCが検出される旨がOBD検査準備会合にて国土交通省から説明がありました。

今般、本件について、一般社団法人日本自動車工業会より、VCIコネクタ接続時の注意点や、接続不良によりDTC検出の可能性がある車両情報等を取りまとめた資料の提供があり、日整連ニュース5月号に掲載されましたのでご参照下さい。

<振興会が実施する一括申請について（会員様向け）>

OBD検査システムの利用を希望する会員事業場の情報を振興会でとりまとめて、自動車技術総合機構（運用管理センター）に「事業場ID申請」を一括申請します。

振興会を経由した一括申請を希望される場合は、振興会ホームページ→会員ページ→会員専用ページ→振興会からのお知らせ→OBD検査システムのID一括申請について→PDF資料

を参照していただき必要書類(Excelデータ)を添付の上、下記アドレス宛にメール送信にてお申し込み下さい。

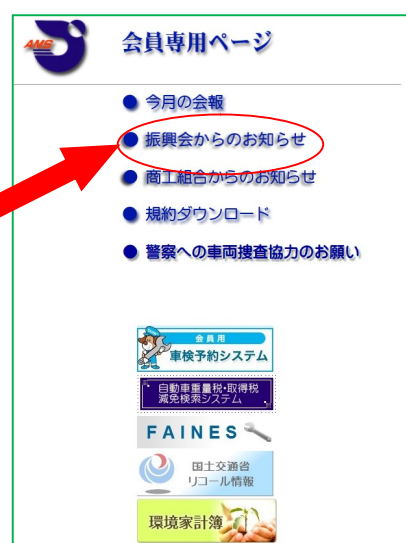
なお、送信元であるメールの件名は「OBD検査システムのID一括申請」と入力して送信して下さい。

自動車技術総合機構より、先般実施されたOBD検査関係通達に係るパブリックコメントの結果等も踏まえ、各自動車整備振興会におけるOBD検査システムID一括申請の受付については、令和6年9月30日をもって終了する旨の情報提供がありましたので、お知らせします。

10月1日以降のOBD検査システムへの登録につきましては、各事業場において個別で申請となります。

メールアドレス sidou@ams-net.jp

振興会ホームページ



①振興会ホームページ会員ページへ
(ユーザー名 ams パスワード amskaiin)

②振興会からのお知らせ
ボタンをクリック

③🚗 OBD検査システムのID一括申請について
→PDF資料参照

④必要書類(Excelデータ)を添付の上、
メール送信

なお、振興会が実施する一括申請は登録のみとなります。その後は自動車技術総合機構(運用管理センター)より申請完了及びクライアント証明書の招待コードのメールが届きますので、ご確認頂き、各事業場で作業(アプリのインストール等)を進めて下さい。

また、振興会での一括申請は複数の事業場から申請があることから、登録には一定の時間を要します。早急に事業場IDが必要な方はOBD検査ポータル(naltec.go.jp)【独立行政法人 自動車技術総合機構】より個別に事業場登録をお願いします。

<検査用スキャンツールの認定機器一覧の公開について>

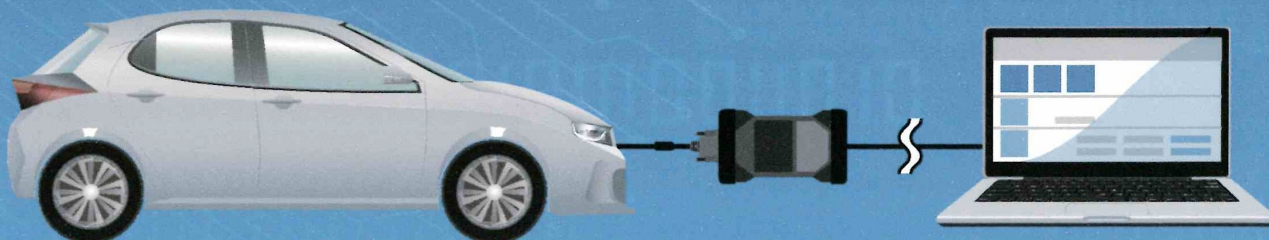
10月よりOBD検査制度が導入されるに伴い、一般社団法人日本自動車機械工具協会のホームページにおいて、認定された検査用スキャンツール型式一覧表が掲載されています。今後も随時更新されますので、必要に応じてご確認くださいませようお願いします。

一般社団法人日本自動車機械工具協会ホームページ <https://www.jasea.org/>

車検時の新たな検査項目として 「OBD 検査」が追加されました。



OBD 検査
ポータルサイト



『OBD 検査』とは、自動運転技術などに用いられる電子制御装置が適切に機能しているかを確認する検査です。国の定める自動車検査（車検）の検査項目として、令和 6 年 10 月以降（輸入車は令和 7 年 10 月以降）に新たに追加されました。



**OBD 検査の対象となる車は車検証の備考欄に、
「OBD 検査対象」と記載があります。**



令和 3 年 10 月（輸入車は令和 4 年 10 月）以降の
ニューモデルからが対象、それ以外は対象外

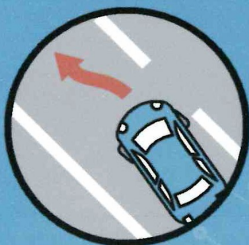
記載があっても以下の場合は検査不要です

- 車検の日が令和 6 年 9 月 30 日以前
（輸入車は令和 7 年 9 月 30 日以前）
- 車検の日が型式指定年月日から 2 年を経過していない
- 車検の日が初度登録年月または初度検査年月の前月の末日
から起算して 10 ヶ月を経過していない。

どんな装置を検査するの？



制動装置
(ABS、ESC、EVSC、
BAS、AEBS)



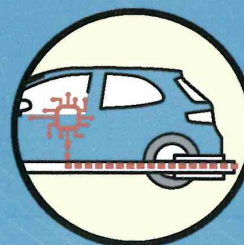
かじ取装置
(高度運転者支援ステ
アリングシステム)



自動運行装置



車両接近通報装置
(AVAS)



排出ガス発散防止装置



国土交通省



独立行政法人
自動車技術総合機構



軽自動車検査協会

新しいクルマに、新しい車検がはじまります

クルマの電子装置の故障をみつけます

OBD 検査
ポータルサイト



令和6年10月より、車検に「電子装置の検査」(OBD 検査)が追加されます

OBD 検査は、法令により義務付けられています

OBD 検査や故障が見つかった場合の修理には費用がかかります

OBD 検査・OBD 確認は検査場または国の指定・認証を受けた整備工場で



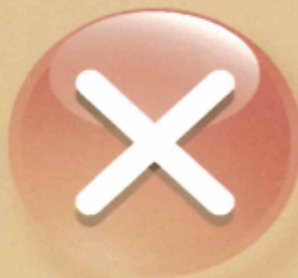
◀ OBD 検査の対象となる車は車検証の備考欄に「OBD 検査対象」と記載があります

※OBD 検査の対象となる車：令和3年10月(輸入車は令和4年10月)以降のフルモデルチェンジ車

? 『OBD 検査』についてよくある質問

☑ OBD 検査ってどうやるの?

自動車のコンピューター（OBD）に特別な診断機（検査用スキャンツール）を接続して電子装置の故障の有無を確認します



☑ 電子装置の故障が見つかった場合 車検に通らないのですか

修理しなければ車検に通りません

☑ OBD 検査や故障の修理には 費用がかかりますか

費用がかかります
料金は車検を受ける整備工場に
ご確認ください



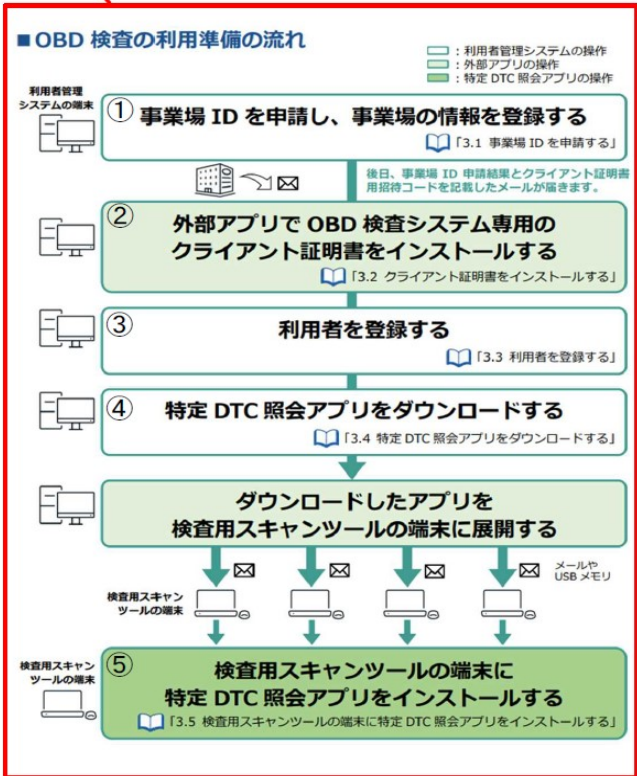
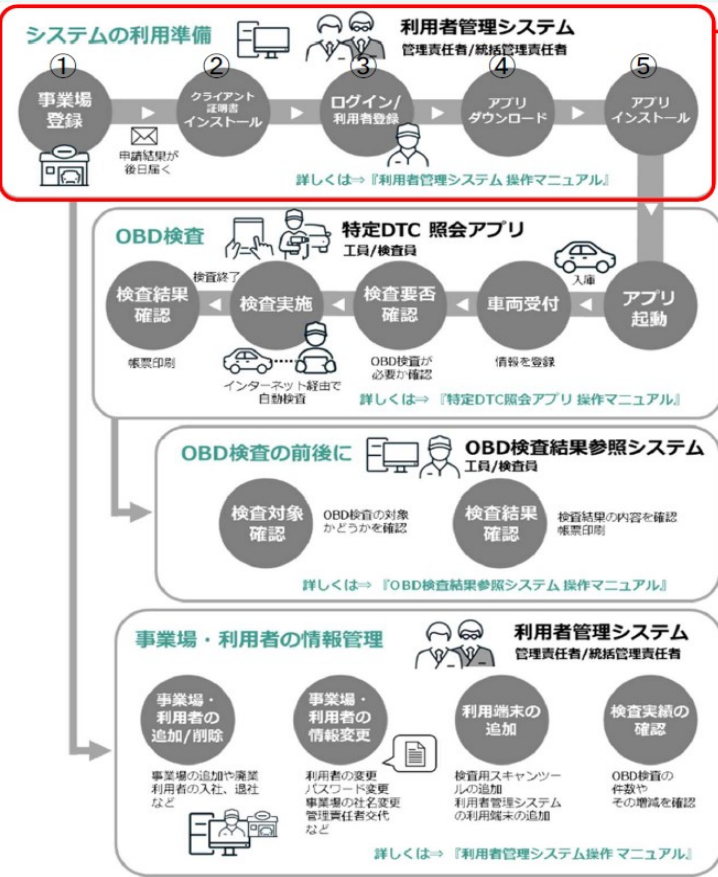
※差し込み口は運転席の右下または
左下などにあります



診断機の差し込み口

診断機の差し込み口に他の装置が
つながっている車は検査できません
車検前にとりはずしてください

OBD検査システム利用までの道のり



OBD検査システム利用までの道のり

指標	できること	準備するもの
1. 事業場登録	<ul style="list-style-type: none"> 事業場情報の登録 (OBD検査システムを利用するには事業場ID登録が必須です) ※OBD検査に向けた必要な準備ができて いるか把握することができます。 	<ul style="list-style-type: none"> PC、タブレット (Window10以上) インターネット環境 メールアドレス 事業場ID登録の申請
2. 初回ログイン (利用者登録)	<ul style="list-style-type: none"> 利用者管理システムの起動 利用者の登録 (工員や検査員などのシステム の利用者登録) ※クライアント証明書が適切に発行されインス トールできるか把握することができます。 	<ul style="list-style-type: none"> クライアント証明書の インストール 初期パスワード変更
3. 初回アプリ使用	<ul style="list-style-type: none"> アプリの起動 車両の受付 OBD検査の要否確認 ※アプリのインストール及びOBD検査を行う 操作ができるか把握することができます。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定DTC照会アプリの インストール
4. OBD検査プレ	<ul style="list-style-type: none"> OBD検査の試行・習熟 ※スキャンツールの通信状況などOBD検査 全般の問題点など把握することができます。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査用スキャンツール 車両(J-OBD II 以降)

■ 最新情報はこちらで

OBD検査ポータルサイト：



OBD検査準備会合：



■ お困りの時はこちらへ

OBD検査コールセンター： 0570-022-574

街頭検査の実施結果について

定期点検整備の促進と不正改造車排除を図るため、標記街頭検査が実施されました。
街頭検査の結果は、以下のとおりです。

日時	実施場所	参加者	摘要
6月5日（水） 10：30～12：00	南都留郡道志村地内 二里塚ポケットパーク	運輸支局 7名 自動車技術総合機構 1名 二輪車普及安全協会 1名 警察 2名 都留支部 5名 振興会 1名	総検査車両数 22台 不良車両数 2台 整備命令 0台 口頭警告 2台 車検切れ 0台

【主な不適合箇所】

保安装置 電気・灯火類 騒音・マフラー

***都留支部の皆様、ご協力ありがとうございました。**

リコール検索システムをご利用ください

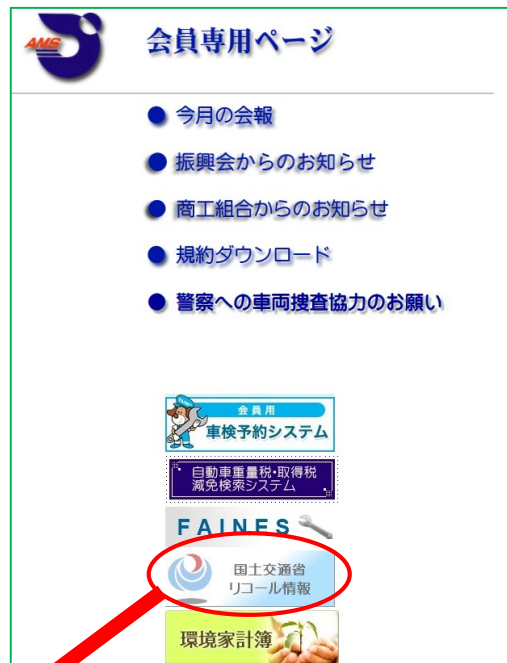
整備事業者がリコール情報を確認する方法として、各自動車メーカーのホームページにアクセスし、車台番号等を入力することにより行っていますが、車両により異なるホームページにアクセスしなければならないなど煩雑であることから、国土交通省並びに日本自動車整備振興会連合会（日整連）ではリコール検索システムを展開しております。

入庫車両のリコール状況を確認する手段として標記検索システムのご利用をお勧めします。

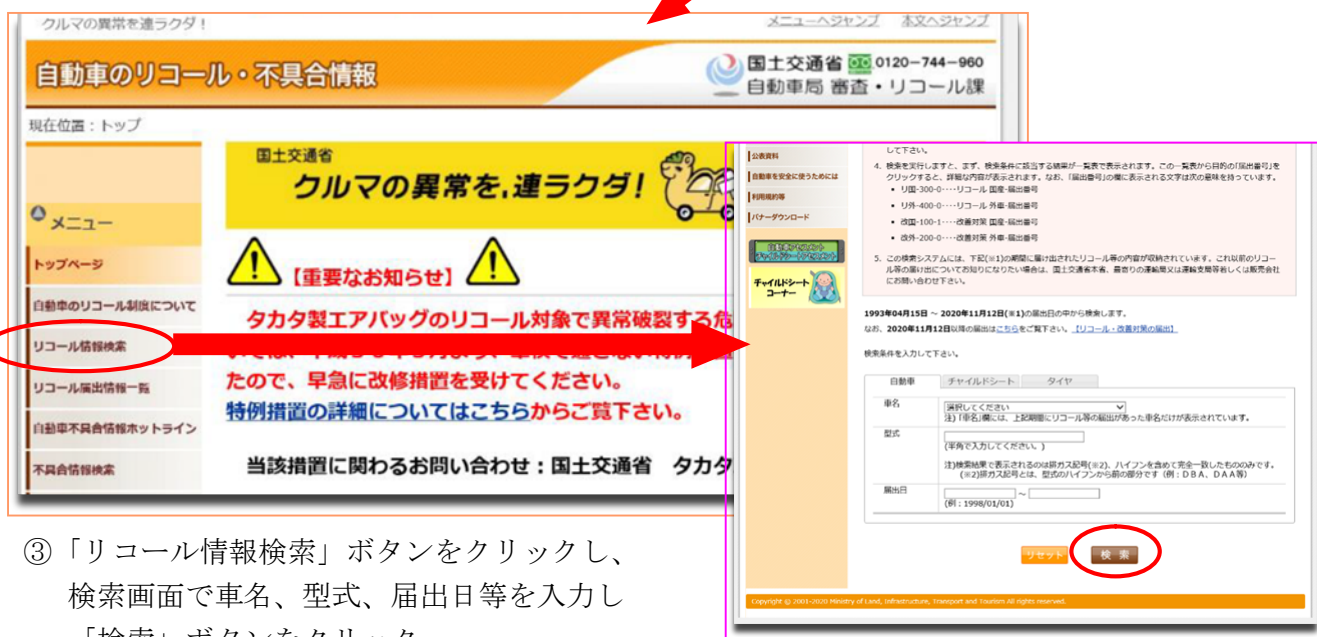
リコール検索システム（国土交通省）（振興会ホームページからリンク）



①振興会ホームページ会員ページへ
（ユーザー名 **ams** パスワード **amskaiin**）



②「国土交通省リコール情報」
ボタンをクリック



③「リコール情報検索」ボタンをクリックし、
検索画面で車名、型式、届出日等を入力し
「検索」ボタンをクリック



①日整連ホームページ下段へ

②「リコール情報検索」ボタンをクリック

③メーカーを選択し、車台番号全桁を半角大文字で入力し、「検索する」ボタンをクリック

車両リコール状況確認

メーカーを選択し
車台番号を入力してください

メーカー

— ▼

車台番号（半角大文字で入力してください）

例）ABC-1234567890

🔍 検索する